

# 米国の個人トラック制度

## OWNER OPERATOR SYSTEM

### 現地取材体験日誌

ロジスタント 吉田 祐起



「米国の個人トラック制度」は、米国のトラック業界に特有の制度で、トラックの所有と運転が同一人物である「オーナーオペレーター」による運転を指す。この制度は、トラックの運用効率を高め、運転者の負担を軽減する効果がある。また、トラックのメンテナンスや修理もドライバー自身が担当するため、コスト削減にもつながる。この制度は、米国のトラック業界の発展に大きく貢献している。

## インタモーダルとモーダルシフト

「インタモーダル」とは、異なる種類の輸送モード（トラック、鉄道、船舶など）を組み合わせて貨物を運送するシステムを指す。一方、「モーダルシフト」は、従来の輸送モードから別のモードへと貨物の運送手段を変更することを指す。この両者は、物流効率の向上やコスト削減、環境負荷の軽減などに大きく貢献している。特に、トラックと船舶の組み合わせは、長距離輸送において大きな効果を発揮している。

## トラックはもう いららない??

### 日米で異なる認識

「トラックはもういらない??」という問いかけは、日米の物流文化の違いを浮き彫りにしている。日本では、トラックは依然として物流の中心的存在であり、特に都市部や郊外での輸送に不可欠な存在である。一方、米国では、トラックの役割が徐々に変化しており、鉄道や船舶など他の輸送モードとの連携が重視されている。この違いは、国土の広さや人口密度、物流インフラの整備状況などに起因している。

## 精力的に会場巡り

### 大統領夫人を担ぎ出す 業界の力の強さを知る

10月21日(木)14日(日)の両日、米国の物流業界は、大統領夫人の乗車体験イベントを開催した。このイベントは、物流業界の発展と社会貢献をアピールする重要な機会となった。会場には、最新のトラックや物流設備が展示され、多くの観客が参加した。大統領夫人の乗車体験は、物流業界の力強さを改めて示した。また、このイベントを通じて、物流業界の現状と将来の展望について、関係者間で意見交換が行われた。

11月10日(土)11日(日)の両日、米国の物流業界は、別のイベントを開催した。このイベントは、物流業界の発展と社会貢献をアピールする重要な機会となった。会場には、最新のトラックや物流設備が展示され、多くの観客が参加した。このイベントを通じて、物流業界の現状と将来の展望について、関係者間で意見交換が行われた。